

次期適応計画の改定ポイント案

■ 影響評価報告書を踏まえた適応策の検討

- 影響評価報告書で示された「重大性」「緊急性」「確信度」に応じた、施策の整理を実施する。
- 分野別施策の各分野、項目での記載において、各分野での影響や適応策の特徴を考慮した【適応策の基本的考え方】※を定め、この考え方を踏まえた施策を適応計画に位置づける。

※ これまで一部の分野でのみ記載あり。

■ 気候変動適応の進展の状況を把握・評価するPDCA手法による進捗管理

- KPI(対策評価指標)を用いて毎年度のフォローアップを実施。更に、施策実施による適応の進展を確認する目的で適応策進展の把握・評価報告書を作成する(5年毎、中間年に中間報告書を作成)

○これらを念頭に次期適応計画の改定について検討を進める。

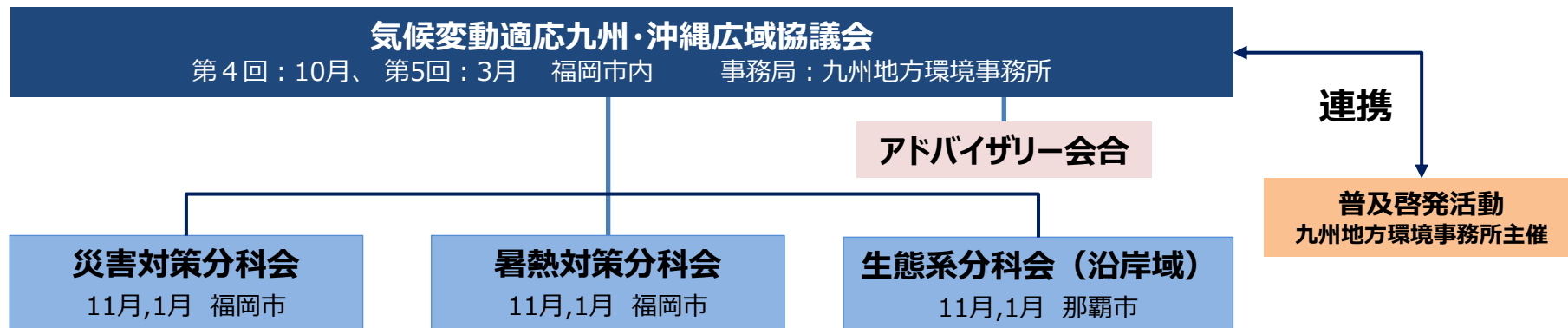
気候変動適応計画の改定スケジュール案

- 令和2年12月に公表した気候変動影響評価を踏まえ、令和3年度に気候変動適応法第8条に基づき気候変動適応計画を改定する予定。
- 検討のスケジュールは以下の通り。

12月	気候変動影響評価書 公表
3月～4月頃	計画骨子案等の検討(環境省で素案を作成)
6月頃	気候変動適応推進会議(計画骨子案の確認、分野別・基盤的施策の基本的施策やKPIIに関する検討方針の確認・依頼)
7月頃	計画骨子案のパブリックコメント
9月頃	PDCA検討委員会、気候変動影響評価等小委員会(計画案等)
秋頃	気候変動適応推進会議(計画案等の承認) 関係行政機関の長との協議
秋頃	気候変動適応計画の閣議決定・公表

事業概要（令和2年度）①

◆ 気候変動適応九州・沖縄広域協議会の運営・開催



<構成員>

- ・地方農政局、地方整備局、地方運輸局、地方経産局、管区气象台等国の地方支分部局
- ・県、政令指定都市、県庁所在市
- ・地域気候変動適応センター

<アドバイザー>

敬称略 五十音順 ※座長

氏名	所属
浅野 直人※	福岡大学 名誉教授
小松 利光	九州大学 名誉教授
田中 充	法政大学 社会学部社会政策科学科 教授
橋爪 真弘	東京大学大学院医学系研究科 国際保健政策学教室 教授
堤 純一郎	琉球大学 名誉教授
脇岡 靖明	国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長
山田 秀秋	水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門 沿岸生態システム部 主幹研究員
柴田 昇平	農業・食品産業技術総合研究機構 九州・沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 農業気象グループ グループ長

災害対策分科会 事業概要

テーマ：台風等による河川流域における豪雨災害に対する環境分野からのアプローチ

九州・沖縄地域では、将来の大雨・短時間強雨の頻度の増加により河川氾濫や土砂災害等のリスクが高まっている。特にリスクが高い地域においては、生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）等の地域資源も活かした事前の対策や、豪雨・強風が予想される際にとるべき行動への促しの重要性がますます高まると考えられる。将来の強い台風の頻度の増加等に対応するため、とりわけ河川流域における豪雨災害への環境分野からのアプローチについて、必要に応じて影響予測等を実施しつつ、地域の関係者の連携によるアクションプランの策定を目指す。

<アドバイザー> ※敬称略

座長：九州大学 教授 島谷 幸宏
(河川工学、グリーンインフラ)

熊本大学 准教授 皆川 朋子
(河川環境、生態系サービス)

九州大学 特任准教授 佐藤 辰郎
(防災工学、地域防災)

<オブザーバー>

九州大学 名誉教授 小松 利光
(防災工学、河川工学)

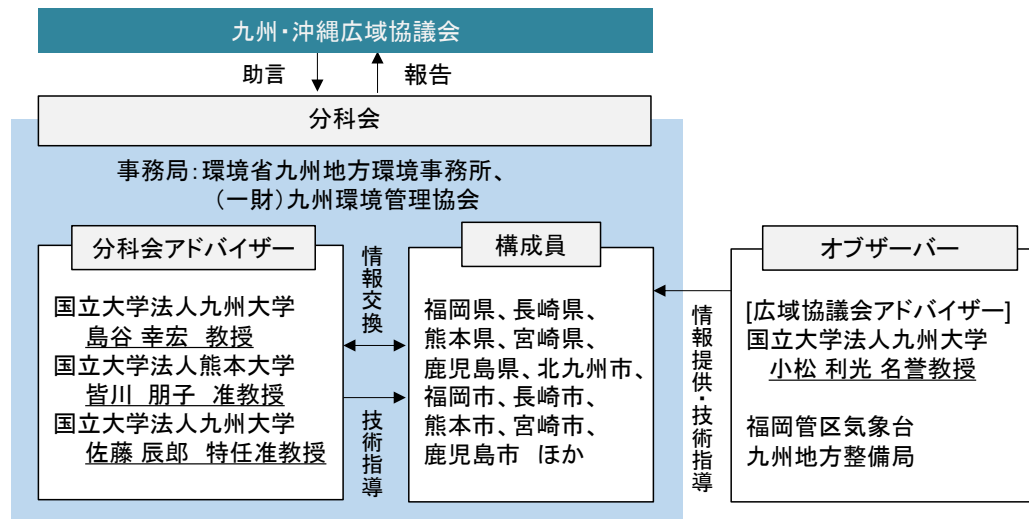
福岡管区气象台

九州地方整備局

<メンバー>

種別	メンバー
地方公共団体	福岡県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、福岡市、長崎市、熊本市、宮崎市、鹿児島市
地域気候変動適応センター	福岡県、宮崎県、鹿児島県

<推進体制>



暑熱対策分科会 事業概要

テーマ：高齢者等の熱中症の予防や重症化防止に資する暑熱対策（テーマ変更）

旧テーマ：学校教育、産業活動、イベント等における暑熱対策

九州・沖縄地域における高齢者の人口あたり熱中症救急搬送者数が他の地域と比べて多い傾向にあることやコロナ禍での高齢者の見守り活動などの課題を踏まえ本分科会では、高齢者の熱中症の予防や重症化防止に資する暑熱対策を優先的に検討し、九州・沖縄地域で地域の関係者の連携によるアクションプランの策定を目指す。

<アドバイザー> ※敬称略

座長：国環研 客員研究員 小野雅司
(環境保健学、環境疫学)

九州大学 教授 萩島理
(都市気候学、建築環境工学)

産業医科大学 教授 堀江正知
(産業医学、産業衛生学)

<オブザーバー>

東京大学 教授 橋爪真弘
(環境疫学、グローバルヘルス)

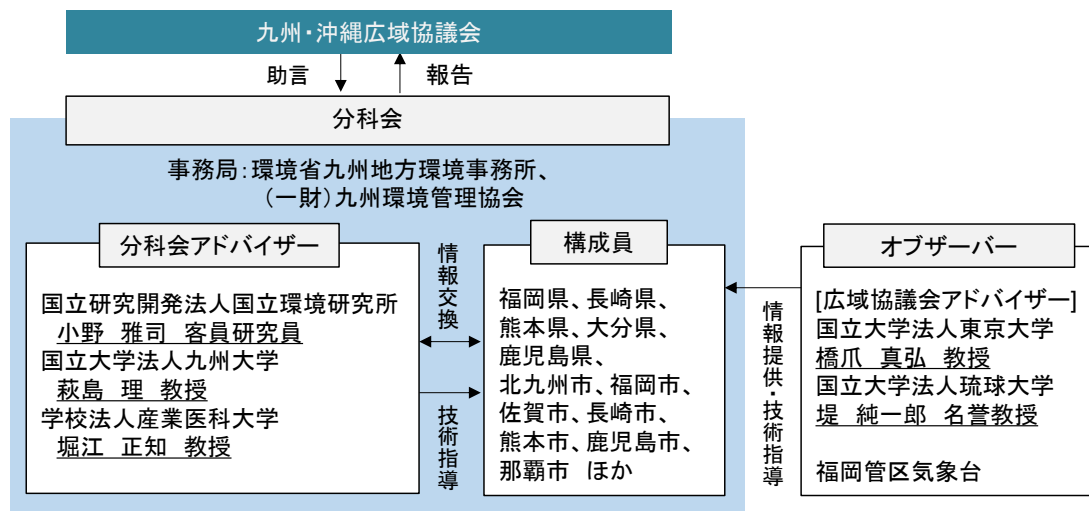
琉球大学 名誉教授 堤純一郎
(流体力学、熱環境工学)

福岡管区気象台

<メンバー>

種別	メンバー
地方公共団体	福岡県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、北九州市、福岡市、佐賀市、長崎市、熊本市、鹿児島市、那覇市
地域気候変動適応センター	福岡県

<推進体制>



生態系分科会（沿岸域） 事業概要

テーマ：沿岸域の生態系サービスにおける気候変動影響への適応

近年、海水温の上昇に伴い、サンゴの白化や藻場の減少等が発生しており、沿岸域での生態系や水産業への気候変動影響が懸念されている。これらの影響に対して適応するためには、生態系への様々な環境負荷を軽減するとともに、地域の関係者間の問題意識の共有化と県境を越えた広域の取組が重要となる。そのため、必要に応じて気候変動影響予測を実施しつつ、サンゴや藻場の保全再生技術に関する共通マニュアルを作成するとともに、それを活用した地域連携、科学的知見充実のための課題・成果・情報の共有体制の構築など、地域の関係者の連携によるアクションプランの策定を目指す。

<アドバイザー> ※敬称略

座長：琉球大学 名誉教授 土屋誠（生態学）

有識者：国立環境研究所 センター長 山野博哉
（自然地理学、サンゴ礁環境学）

琉球大学 教授 藤田陽子
（環境経済学、島嶼地域研究）

琉球大学 准教授 中村崇
（サンゴ生理生態学）

佐賀大学 特任教授 鹿熊信一郎
（水産資源管理、サンゴ礁保全再生）

高知大学 准教授 中村洋平
（魚類生態学）

水産研究・教育機構 主任研究員 島袋寛盛
（海藻・藻場の生態学）

<オブザーバー>

水産研究・教育機構

主幹研究員 山田秀秋（亜熱帯海草藻場生態系）

長崎県総合水産試験場

科長 桐山隆哉（海藻の増養殖、磯焼け（対策））

沖縄气象台 ほか

<メンバー>

種別	メンバー
地方公共団体	佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、福岡市、大分市

<推進体制>

